

## 1991 年：話題の広まり

最初の実践が素晴らしい成功裏に終わりましたので、AutoCAD で何かするときのよりどころとして NAAUG の話題が広まりました。仕事のチャンス、仲間ユーザとのネットワークとオートデスクのプログラマーとの直接の接触の話は、1992 年の NAAUG 年次総会に場所を譲ります。John McQuary と彼の陣営はオートデスクと共に、CAD Camp (オートデスクの最も古い年次 AutoCAD ディーラーイベント) を同時開催することで、1990 年のミーティング出席者数の 2 倍にするという大いなる計画を立てました。ミーティングは見事に進行し、そして、前年度の参加者が享受したすべての利益に加えて、彼らには初めて、サドパティの開発者やディーラーに直接接する手段が提供されました。

CAD Camp がオートデスク本部の近くで開催されたので、多くのオートデスク社員がイベントに出席することができました。私は、オートデスクのプロダクト・サポート・マネージャーである Lou Goldklang が教える経営者のサポート・セッションやプロダクト・マネージャでありプログラマーの Brad Zehring と Duff Kirland による技術的ウィッシュ・リスト・セッション、そして、プロダクト・サポート・テクニシヤンの David Loving と Crystal Moreno による印刷設定のセッション、ツールズ・アンド・テクノロジー・ウィザード の Cliff Gauntlet による ADS プログラミング、などなどを見つけてあつけにとられました。そして、もしこれが十分な興奮に欠ける場合には、前年からの NAAUG メンバーは、ネットワーク、システム、AutoCAD の設定、専門分野特有のカスタマイズ、プログラミング、およびテクニックに関する自分達の専門を教えることが可能でした。AutoCAD ネットワーキング・セッションは立席のみの部屋で行われました。

それは信じられないミーティングでした。そして、また、出席者は新しいオートデスク マルチメディア製品 3D Studio によって作成されたプレゼンテーションにぞくぞくしました。このミーティングではメインホールに 3 個のマイクロホンが用意され、完全に整理され、注目された初のウィッシュ・リストが提出されました。そして驚くことにミーティングは 2 時間も続きました。(このウィッシュ・リストセッションは、十分に構築されたものではありませんでしたが、1991 年のミーティングでは、オートデスクが採用した非常に貴重なフィードバックを含んでいました。) それに続いて、将来の AutoCAD の機能についての討論と CAD 規格やサドパティ ソフトウェア評価の実施に関しての大企業数社によるプレゼンテーションがありました。全ての人々は、再び魅了させられ、そして、イベント全体は全国のサドパティ開発者とディーラーの参加によって一層充実したものとなりました。

次の年の新しい理事が以下のように選出されました。

会長: **Jay Reinhardt** / Bechtel Corp.

副会長: **Phil Krieker** / Looking Glass Microproducts

書記: **Tom Conti** / Walt Disney Imagineering.

会計: **Craig Allen** / Chevron Information Technology Co.

LUG 代表: **David Minkin** / Micro/CADD Consulting

AEC SIG 議長: **Larry Rocha** / Wimberley Allison Tong & Goo Architects

Mechanical SIG 議長: **Paul Jackson** / Honeywell, Inc.

GIS SIG 議長: **Roderick S. Buehler** / Utah Power

Senior Autodesk Rep: **John Forbes** / Autodesk

ユーザ グループ サービス マネージャー: **Stacey Nichols** / Autodesk